



平成 26 年 8 月 29 日

各 位

会社名 三井製糖株式会社  
代表者 代表取締役社長 飯田雅明  
(コード番号 2109 東証第1部)  
問合せ先 執行役員 小塚智広  
経営企画部長  
(TEL. 03-3663-3111)

### タイ製糖会社コンブリシュガーへの新株予約権行使に関するお知らせ

三井製糖株式会社（本社：東京都中央区、社長：飯田雅明、以下「三井製糖」）は三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、社長：飯島彰己、以下「三井物産」）と、タイで製糖・発電事業を営む **Khonburi Sugar Public Company Limited**（以下「コンブリシュガー」）の新株予約権を今般行使しましたので下記のとおりお知らせいたします。なお、新株予約権につきましては、コンブリシュガーが平成 25 年 2 月に実施した第三者割当増資を引き受けた際、同時に取得しており、今般の新株予約権の行使により三井製糖は 2 億 1,000 万タイバーツ（約 6 億 8,000 万円）、三井物産は 4 億 2,000 万タイバーツ（約 13 億 5,000 万円）を追加出資し、出資比率をそれぞれ 5.6%、11.1%へと引き上げております。

### 記

#### 1. 新株予約権行使の理由

タイ国は世界第二位の砂糖輸出国であり、砂糖のグローバルトレードの最重要拠点と位置付けられております。加えて政府の農業政策の転換により米からサトウキビへの転作が奨励されており、今後 5 年間で 1.5～2 倍の生産量が見込まれております。

今般、コンブリシュガーは既存砂糖生産設備の増強やバイオエタノール工場新設を計画しており、今回出資した資金をこれらの投資計画の原資の一部として活用を図る予定です。

砂糖生産設備の増強ではサトウキビ圧搾能力を現行の日量 23 千トンから同 35 千トンに引き上げ、能力拡張により販売量の増加、生産性向上、コスト削減等を目指します。また、日量 200 キロリットルのエタノール製造工場を新設し、砂糖事業からの多角化を図り、価格変動の大きい砂糖相場に左右されない安定的な収益獲得を図ります。

三井製糖としては、50 年以上に亘るタイ製糖会社への三井物産との共同出資事業による深い知見に基づき、三井製糖の技術、三井物産のグローバルネットワークを活用することで、アジアにおける砂糖事業の拡大と連携強化を目指します。

## 2. コンブリシュガーの概要

コンブリシュガーはタイ東北部ナコンラチャシマ県に製造拠点を置き、サトウキビ 250～300 万トンから年間 25～30 万トンの砂糖を製造する他、サトウキビの搾り滓（バガス）を燃料として発電事業を営んでおります。

名称	Khonburi Sugar Public Company Limited. タイ証券取引所に上場 (コンブリ シュガー パブリック カンパニー リミテッド)
所在国（登記上）	タイ バンコク市
設立年	1965 年
代表者	Chairman / Mr. Suthep Wongvorazathe (ステープ ウォンヴォーラッセ会長) Chairman of the Executive Committee / Mr.Takon Tawintermsup (タコン タウインタームサップ経営会議議長) Managing Director / Mr.Tat Wanakornkul (タット ワナコーンクル社長)
出資構成（新株発行後）	創業者一族 52.1%、三井物産 11.1%、三井製糖 5.6%、他
事業内容	砂糖の製造、販売

以上